

兵庫県保険医協会 但馬支部ニュース No.126

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒668-0373 豊岡市但東町久畑1 2 6
高橋診療所 TEL/0796-55-0036 FAX/0796-55-0008



新年のごあいさつ

国民皆保険創設の原点に立って 住民・要求に根ざした活動を

支部長 新田 誠

保険医協会但馬支部会員のみなさま、
新年明けましておめでとうございます。
旧年中は但馬支部の諸活動にご参加・
ご協力いただき誠にありがとうございました。

昨年をふり返って感じますことは、
迷走する政治の中で、東日本大震災と
いう稀にみる自然災害と人災でもある福
島原発問題で日本中が不安と悲しみの思
いに尽きた1年でした。

今年は、医科・歯科診療報酬と介護
報酬の同時改定が行われます。国民皆
保険となって50年といいますが、ここ
30年間はずっと低医療費政策が続いて
います。当然の結果として医療崩壊は
ますます深刻になっています。かつて
世界にお手本として誇っていたはずの制
度は、いつの間にかOECD諸国に抜
かれ、先進諸国が患者窓口負担を軽減

するなかで、保険制度すら危ぶまれる
3割負担となっています。

日本の医療水準はOECD諸国の中
で第1位を誇っているのに「かける医
療費は平均以下、窓口負担も多い」と
なれば誇るに値しない制度になってし
まっていると言わざるを得ません。

まさに多事多難の現況ではあります
が、但馬支部では医療・社会保障制度
の立て直しをとという願いとともに、地
域住民の生命と健康を守るという使命
達成のため、地域医療充実と国民皆保
険制度堅持、保険医の生活と権利を守
る活動に取り組んでまいります。

但馬支部会員の皆様方には、これか
ら何卒温かいご支援、ご鞭撻を賜り
ますよう切にお願い申し上げます。新年の
ご挨拶とさせていただきます。

第14回医院運営なんでも懇談会

中古医療機器の活用で経費削減

～中古医療機器の活用をテーマに会員懇談会開催～

但馬支部は12月4日、じばさん但馬で第14回医院運営なんでも懇談会を開催。下山均副支部長（香美町）、エム・キャスト株式会社（中古医療機器販売会社）から中古医療機器活用をテーマに話題提供頂き、会員ら8人が参加した。

下山先生より、中古医療機器を購入した経験を報告。下山先生は、診療報酬削減などにより、かつてない厳しい経営環境に置かれた医療機関にとって、経費削減と経営合理化のため、周辺機器を中古医療機器で賄うのも医院経営の一助となる、と強調した。

中古医療機器の購入に際して、ホームページなどの限られた情報だけでなく、ショールーム等に赴き、直接手にとって製品について十分な情報を得ることが重要とした。また、担当者が業界に精通し、医療機器の総合的なアドバイスができるかどうか業者選定のポイントとした。

後半は、エム・キャスト株式会社（中古医療機器販売会社）の江口康之氏より「変わる中古医療機器市場」をテーマに話題提供。中古医療機器の需要が拡大するなか、信頼できる業者の見分け方、正規の中古機器販売の流れを整理し、購入のポイントを解説した。

江口氏は、薬事法に則って運営し、製品について十分な情報を公開しているか否かが業者選定の目安とした。



話題提供する下山先生

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



- 「2月のテーマ」
- 月曜日 緑内障のはなし
 - 火曜日 入れ歯は寝る時にどうしていますか？
 - 水曜日 手足のふるえでパーキンソン病を疑うとき
 - 木曜日 アレルギー性鼻炎
 - 金土日 褥瘡（床ずれ）の予防と最近の治療

☆投稿募集☆

先生方の投稿を募集しております。日常診療・趣味など何でも結構です。お写真などもお気軽にお寄せ下さい。

協会事務局 足立まで

TEL：078(393)1805

FAX：078(393)1802

第80回評議員会 但馬支部からの発言

「但馬の医療問題」をテーマに 支部総会で地域医療座談会を開催

金子 元彦 評議員（豊岡市）

11月20日開催の第80回協会評議員会において、支部幹事で協会評議員の金子元彦先生が「医師不足問題で懇談会を開催」について発言した。以下はその要旨。



金子先生が報告

深刻な医師不足や診療科の閉鎖など、地域医療の存続が大きな問題となっている但馬で、同支部は7月10日に第25回総会記念企画として、地域の公立・民間病院長や医師会長らを招いて懇談会を開催した。医師不足問題への対応や病診連携など、地域医療をどう守るかについて参加者は活発に議論を交わした。

「但馬の医療問題」をテーマにした座談会は、香住、但馬、梁瀬、八鹿の各公立私立病院の院長など4人と、豊岡市医師会会長、県看護協会但馬支部役員、たじま医療生活協同組合理事長、行政から県立但馬長寿の郷郷長と、但馬支部役員など15人が参加、但馬地域の医療の実態や医師不足問題の解決などについて意見交換した。

参加者らは、但馬の医療を守るためには、医療者が地域医療を守る立場で住民と協力・共同することが重要だと確認しあった。

幹事会だより

12月4日（日）じばさん但馬で第136回幹事会を開いた（6人出席）。以下、主に議論された内容を報告する

- 秋の組織強化月間では、支部役員らの協力も得て病院対策を強化した。この間、公立豊岡病院長との面談や公立香住病院での医局説明会開催など一定の成果を得た。引き続き、但馬地域の病診連携を前進させる意味でも病院対策に取り組みたい。
- 医療経済実態調査が、恣意的に発表されている。診療報酬は減額ではなく増額が必要なのは明らか。マスコミは現場の声に耳を傾け、正しく報道してほしい。
- 今後の支部企画として、2月16日に公立日高医療センターで「他科を知る会」、3月25日には「新点数研究会（医科・診療所）」を予定している。

※幹事会は、会員の先生あればどなたでもご参加いただけます。お問合せは、担当事務局 足立（TEL：078-393-1805）まで。

兵庫県保険医協会但馬支部研究会

専門医に聞く 開業医でここまで診てほしい

<整形外科シリーズ第2回>

日 時 2月16日(木) 午後7時～
会 場 公立日高医療センター健診センター4階
(軽食あり、参加費100円)
特別講演 「日常診療に役立つ軟部腫瘍診断のコツ」
公立豊岡病院整形外科部長 中山 富貴 先生
司 会 公立日高医療センター顧問 芦田 一彌 先生
共 催 兵庫県保険医協会但馬支部・中外製薬株式会社

「軟部腫瘍は体のどこにでも発生しているいろいろな診療科でとり扱われますが、特に専門の診療科が決まっていないため系統的な診断方法が整備されていませんでした。近年はMRIが比較的容易に撮像されるようになり診断のための情報は得やすくなっています。今回は日常診療で遭遇しやすい軟部腫瘍について画像診断を中心に解説します」(中山富貴記)

保険医協会但馬支部では昨年、症例検討会「専門医に聞くー開業医でここまで診てほしいー」を発足しました。第1回目は公立日高医療センター顧問で整形外科専門医の芦田一彌先生に講師をお願いし、整形外科シリーズ企画として5月26日に開催しました。当日は、平日の夜遅い時間にもかかわらず、多くの開業の先生方が参加され、初めに芦田先生より「脊椎疾患」をテーマにスライドを用いた講義がありました。芦田先生は講義のなかで、「常に患者さんの訴えと診察・



前回(5月26日)の様相

さまざまな症例が検討された

画像所見が一致するか確認するように」と強調されました。講義のあと、出席者より脊椎X Pの撮り方や偽痛風などについて多数質問が寄せられ、有意義な会となりました。

今回は、整形外科シリーズの第2回目として、芦田先生からのご提案もあり、私たち開業医が診る可能性がある、「軟部腫瘍」をテーマに公立豊岡病院整形外科部長：中山富貴先生を講師に話題提供頂く予定です。当日は、何でも気軽に意見交換できる場となればと思いますので、日頃先生方が疑問に思われている症例など、ぜひ持参いただければ幸いです。

この会が総合診療教育、病診連携のひとつの場になれることを願っております。夜遅い時間帯ですが、多くの先生方がご参加下さいますようお願い申し上げます。(谷垣正人副支部長記)

兵庫県保険医協会：神戸市中央区海岸通1-2-31 フコク生命海岸通ビル5階
(お問い合わせは、兵庫県保険医協会但馬支部 担当事務局 足立まで TEL 078-393-1805)